



優 秀 賞

マネジメント部門

マネジメント部門



かなたけの里公園のパークマネジメント

株式会社 エスティ環境設計研究所
渋江章子・松本和也・豊崎修平

本作品は、「かなたけの里公園」の整備に関わる基本構想・基本計画、管理運営計画、そして供用後の管理運営といった一連のプロセスを、地域に根差した新しい公園づくりとしてのパークマネジメントと捉えたものである。

公園が所在する金武地区は福岡市西区の最南部に位置し、東には室見川、西部から南部は飯盛山をはじめとする脊振山系に

連なる自然環境豊かな地域で、福岡市の生鮮食料供給地として重要な役割を担っている。福岡市中心部からは車で30分程度の都心部に近い地域で、市街化調整区域として現在も農業を中心とした生業が営まれ、良好な農村景観が保全されている地域である。

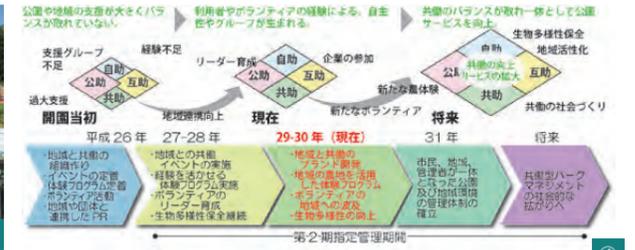
〈基本構想・計画〉:高齢化や農業の担い手の減少、農村景観・生物多様性の保全等の様々な課題を持つ金武地域では、農業振興及び地域内外の人々の交流促進が強く望まれていた。そこで、計画地周辺の農的環境との調和を図りながら、地域の持ち味や市街地に隣接する立地を活かし、これらの課題に取り組んでい

作品概要

作品名—— かなたけの里公園のパークマネジメント
所在地—— 福岡県福岡市西区金武1367
発注—— 福岡市
基本設計—— 株式会社エスティ環境設計研究所
基本構想—— 株式会社エスティ環境設計研究所
管理運営の業務実施体制(協力会社等)
委託者—— 福岡市
指定管理者—— チーム里の環(九州林産株式会社・株式会社エスティ環境設計研究所共同企業体)
公園管理運営を連携して行うNPO:環境文化プロジェクト機構
公園管理運営を連携して行う地域組織:かなたけの里公園運営推進委員会
計画・設計・管理運営期間——
平成19年7月~平成32年3月
規模—— 12.7ha
主要施設—— 管理棟、体験畑、花畑、湿地、せせらぎ、果樹園(ブドウ、クリ、ミカン)、竹林、芝生広場、屋外炊事棟、農機具倉庫、多目的駐車場、農業体験農園(分区分園)

作品評

本作品は、福岡市郊外の谷戸地を、貴重な自然環境を保全し、農の風景を楽しむ公園として整備し、農作業体験、自然体験学習、管理作業体験、活性化イベント、ものづくり体験、等の活用を行っているものである。
応募者は、基本構想・基本設計と管理計画作成、ならびに指定管理者の共同経営体として関わっており、当該地の計画・運営の中心にあると云える。特に管理運営では、指定管理者である自らの組織のみならず、連携して活動するNPOや地域組織、学識経験者等、利用者ワークショップ、などの様々な団体と連携して運営している。こうした手法はオーソドックスなものであるが、健全で着実な成果をあげていること、さらには、公園内から地域へと活動の輪が広がりがつたことなどが評価された。



- ①地域の農家と連携した園外遊休農地での米づくり
- ②基本計画における平面図及び活用イメージ
- ③公園開園に向けた地域住民・行政・NPO 共働の試行体験
- ④共働型パークマネジメントに向けた展開イメージ
- ⑤園内の環境を活かした四季の自然観察会

く計画を地域と共に検討した。

〈管理運営計画〉:公園開園に向け、行政及びNPOによる予定地活用の取り組みと連携し、地域住民が積極的に参加する試行体験の実施や管理運営の体制づくりより効果的な整備の提案を行った。

〈管理運営〉:現在の管理体制は、指定管理者、地域住民による組織「運営推進協議会」、前述した予定地活用の取り組みを進めたNPO、さらには緑地環境の学識者等との連携体制を中心として構成されている。私たちは、『ともに育む里の環(わ)』を管理運営の基本理念とし、地元の農家を中心に直接雇用した

スタッフによる、農体験指導や維持管理作業を実施している。また、農体験プログラム、自然観察会、ものづくり教室等の活動を行うとともに、地域の商店や公民館、JA等の多様な参加によるイベントを実施することで、地域活性化と広い市民参加を促している。また、ホテルの生息地保全をはじめとした希少種の保護や、園内の環境を活かした湿地帯の創出と生き物の生息環境に配慮した草刈管理といった活動を日ごろの維持管理作業で行うとともに、野鳥の会や地域住民と共同で行う園内モニタリングを実施することで、生物多様性保全に向けた取組を行っている。